

# 棚底地区振興会報 アイラトピカスラ

## 敬老の日おめでとう 「ごいまます」

今年の敬老の日は、9月21日(月)です。祝日法では「敬老の日」を多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」と定義づけています。

棚底地区振興会では、例年、9月の第2日曜日に70歳以上の方を対象に「敬老会」を開催し、式典や演芸で長寿を祝ってきました。しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得ない状況になり大変申し訳なく思っています。

倉岳町では8月末現在、90歳以上のご長寿が123人で棚底は54人、うち100歳以上が5人で最高齢は4区の荒平重敏様、104歳です。また、65歳以上も1323人と全町民の半数弱に達するほど高齢化が進んでいます。

一方、少子化による人口減少や高齢化に伴う老々介護、8050問題、防災対策などが新たな課題として指摘されています。振興会では、高齢者の皆さんが、生き生きと元気で長生きできるようにお手伝いできればと思っています。

## 天草市一斉避難訓練…9月6日(日)

### コロナ禍の影響で4区を除き合同訓練は自粛!

9月6日(日)に実施される今年度の『天草市一斉避難訓練』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3密(密集、密接、密閉)を防ぐため、これまでと違い自主防災会などが中心となって実施する地区と地域住民総参加の地区に分かれます。詳しくは各地区とも区長さんの指示に従って関係者だけ訓練に参加してください。

なお、自主防災組織主体の地区は、住民の避難訓練は行われませんが、今後の台風や地震などの災害に備えるため、自宅や身の回りの安全確認や避難場所、避難訓練の確認をお願いします。また、住民総参加で避難訓練を実施する地区は、マスク着用など感染防止策をとって参加してください。熱がある方や体調がすぐれない方はお控えください。

## 棚底のちょっとした話 ⑫

文政二年(一八一九)八月に次のような達示文が代官所から全郡に発せられました。  
近來怪しげな祈禱者が村々を徘徊し、熱病等の軽重に応じ祈禱料を過大に貪り、中には野狐變化の類に託して愚昧の百姓共より多分の金銀を騙し取る者あり、以来郡の内外人を問わず、いずれも袈裟頭棚底村大光院、富岡町明星院に於いて、祈禱の修法嚴重に相改むる筈につき、怪しき者に対して軽々しく祈禱を依頼すべからず」

天草島神社誌(森田宮司蔵)の由緒書によれば、江戸開府前後に初代大光院が修験の号を賜ったとあり、代々大光院を冠する修験者(山伏)が諏訪神社に常駐していたようです。  
現在でもあちこちの石碑に大光院の名が刻まれているのを見ることができ、修験に関わる石像等が倉

## 江戸期の棚底諏訪神社

表① 棚底諏訪神社の管轄社(明治初期の旧砥岐組)

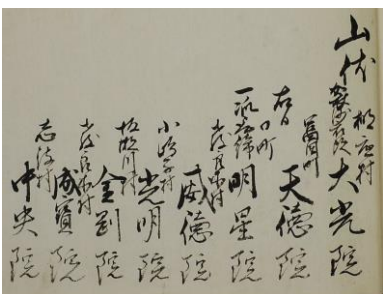
村名	神社名
棚底	ほぼ全社を管轄。
浦	ほぼ全社を上津浦神社管轄
宮田	十五社宮・八幡宮を管轄。他は藤川古連。
御所浦	ほぼ全社を管轄
大道	ほぼ全社を管轄
高戸	ほぼ全社を管轄
樋島	ほぼ全社を管轄
二間戸	ほぼ全社を下津浦神社が管轄
姫浦	牟田神社・永目神社を管轄。他は下津浦神社。

岳山頂周囲に祀られています。慶応四年の天草郡村々手鑑帳のなかで、山伏の項では、棚底諏訪神社の大光院が山伏のトップに記載されています(写真)。棚底の大光院と富岡の天徳院(明星院)が天草の袈裟頭の位だったのでしょうか。  
また、諏訪神社は、江戸から明治にかけて砥岐浦九ヶ村の総鎮守とされていますが、明治四年に時の長崎県に提出された神社書上帳によれば、表①のとおりとなっています。

この中で浦の神社は今でも有明町の神社と関係が深いようですが、その発端は今となってはよく分からないようです。また、宮田の主だった神社の二社が棚底諏訪神社の管轄であったというのも不思議です。

歴代の神主は江戸期が山伏の大光院、明治になって福原院(二代)、岡田光貞氏、元瀬戸山三男文部・建設大臣の実父で下津浦の河内寿松氏(三十年間)を経て森田さん二代が引き継がれています。

なお、諏訪神社の境内は大島子の諏訪神社に次ぐ広さを誇っています。  
棚底三区 歳川 喜三生



▲山伏 棚底村 袈裟頭大光院と書かれています

第1回天草の自然・歴史講座が8月5日(水)棚底コミセン集会室で開催された。倉岳地区公民館主催で講師は、熊本県文化企画・世界遺産推進課の池田 朋生学芸員。

今回は、倉岳山頂神社や矢筈岳の金毘羅宮などに現存する石祠、神像、石舟についてとても興味深いお話を聞くことができた。船をモデルにした、船形石製品のことを石舟(インブネ)と呼び、倉岳神社以外では天草市の志柿、下津浦と唐津市の神集島で1隻づつ発見されているのみ。何故、倉岳山頂に19隻も石舟があるのか謎という。「石舟」は砂岩や凝灰岩など加工しやすい軟岩(御領石、下浦石)で造られ、考古学的には凹型、水平型、凸型に分類されるという。また、「ニナヤドカリ」などを供える行為は、倉岳の石舟でのみ確認されるが信仰との関りは不明だそうである。

## 郷土歴史教育 「倉岳の石舟」



## 地域で守ろう子供たち！



長かった梅雨がやっと明けた7月31日(金)、強い日差しが残る夕方6時から校区内を防犯パトロールをしました。今回は、防犯協会、小・中・高校の先生や振興会地域づくり部会員ら合わせて15人の参加がありました。青少年育成事業の一環で非行防止や安全・安心のまちづくりを全・安心のまちづくりを全指し、啓発活動を兼ねて明るい時間帯に巡回しました。

コロナ禍の影響で短い夏休みとなりましたが、児童・生徒は、感染防止策と新しい生活様式を守って2学期を楽しく過ごしてください。



【会議の様子】

## ～8回目の整備検討委員会を開催しました～

7月30日(木)に8回目となる棚底城跡整備検討委員会を開催しました。会議内容は主に整備管理用道路の設計案や樹木管理ガイドラインについての審議で、たくさんのご意見をいただきました。次回は今月末頃に開催予定です。

樹木管理用ガイドラインの完成後は、眺望に支障をきたす樹木や安全対策上、危険と判断される城跡内の樹木については、伐採します。その際は改めてお知らせいたしますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

(天草市文化課 宮崎)

棚底城通信第51号

## 今月の人口

高齢化率 49.20%

### 人口動静

	世帯数		人口	
	6月末	7月末	6月末	7月末
浦	279	280(+1)	649	650(+1)
棚底	486	486(0)	1,086	1,087(+1)
宮田	443	440(-3)	957	952(-5)
合計	1,208	1,206(-2)	2,692	2,689(-3)

## 主な行事予定

- 9月 6日(日)天草一斉避難訓練
- 9月13日(日)倉岳中体育大会
- 9月20日(日)倉岳小運動会
- 9月21日(月)敬老の日
- 9月22日(火)秋分の日

(コロナのため変更になる場合あり)